

千葉氏ゆかりの地



本円寺

Hon'en-ji Temple

千葉市中央区本町1丁目6-14



千葉氏ポータルサイト Foreign Languages

本円寺は日蓮宗の寺院です。顕本法華宗(妙満寺派)の祖である日什と下総守護千葉満胤によって弘和元年(1381)に開かれ、日什の弟子日義に帰依した、千葉氏重臣の円城寺胤久が道場を建立したと伝えられています。

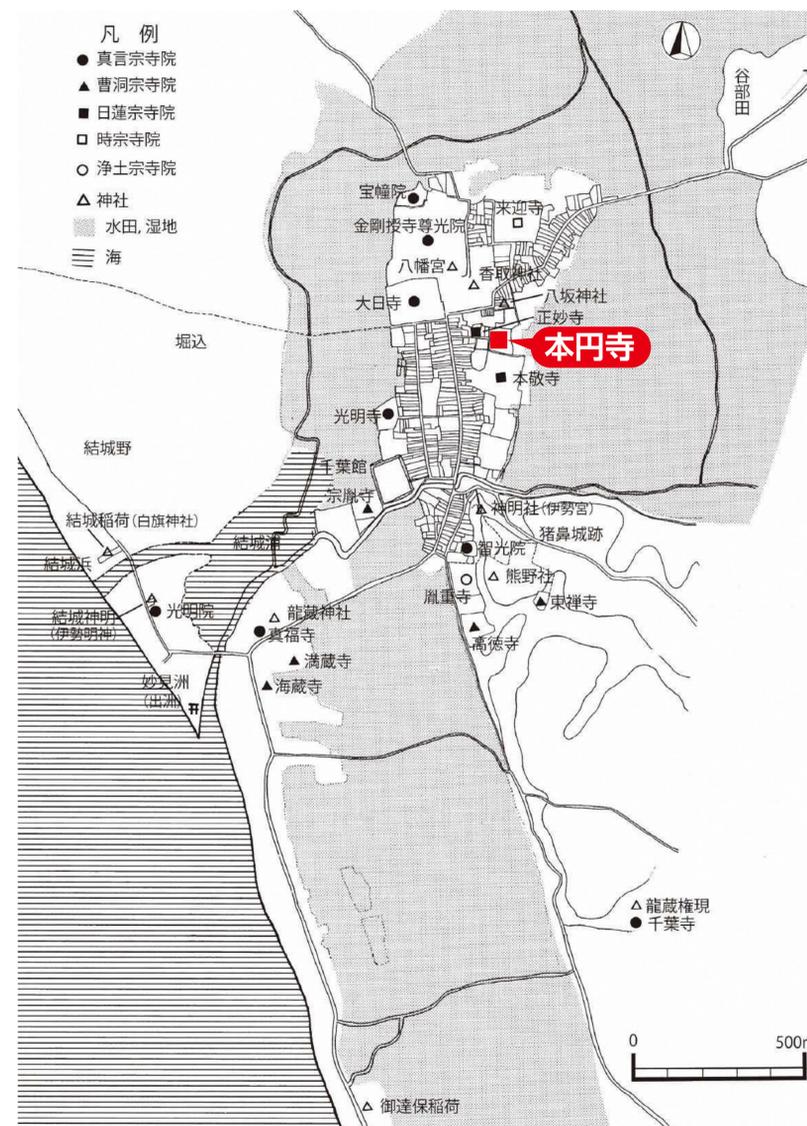
『門徒古事』には、日義が守護千葉介(満胤と考えられます)の祈祷所に出向いたことや千葉介が日什を招いてその教えを聞いたがっていたことが記されており、日蓮宗が千葉に進出して千葉氏に信仰されたことがうかがえます。また、他宗派が千葉近郷の仏像の鼻を欠き落として日蓮宗の仕業と称したことなど、宗派同士の対立が生じていたことも記されています。日義が千葉氏の祈祷所に出向いたことや、千葉近郷でこのような事件が起きたことから、千葉氏の館が本円寺からさほど遠くない場所(千葉のまちのどこか)にあったと推測できます。

本円寺の近くには本敬寺(日蓮宗)があり、かつては正妙寺(日蓮宗、明治期に本敬寺に合併)もありました。本敬寺は、日蓮の6人の高弟の一人日向が開いた、藻原寺(茂原市)の十世をつとめた日伝が明応元年(1492)に開いたと伝えられます。また、正妙寺は法華経寺(市川市)の末寺で、日高が正和元年(1312)に開いたと伝えられます。



本円寺墓地(若葉区貝塚町)の石塔
左が円城寺胤久の石塔

中世・近世の千葉のメインストリートは、千葉氏の守護神「妙見」を祀る金剛授寺尊光院(現在の千葉神社)から都川に架かる大和橋までの「本町通り」と、これに続いて寒川方面に至る「市場町通り」でした。まちの東側に位置する本町付近に、主に商工業者の信仰を集めた日蓮宗寺院が集まっていたことから、千葉の都市としての発展をうかがうことができます。



中世千葉町推定図(『千葉いまむかし』第13号より)